

プロジェクトリーダー:名古屋学院大学 スポーツ健康学部 中野貴博教授

事業実績調書

(1) プロジェクト名	こどもの体力・運動能力, 活動意欲向上を目指した調査・実践
(2) プロジェクトの成果 (※そのような成果が得られたかについて具体的に記載)	
<p>2019年度の主な成果は以下の3つである。</p> <p>1) 「運動指導リーフレット作成」: 走動作、跳動作、マット運動2種 (前転・後転)、ボールゲームそして、リズム運動の運動指導用のリーフレットが作成された。この内、走動作、跳動作、そして、2018年度に作成した跳び箱、鉄棒のポスター版を作成した。市内の小学校および公立保育園にて掲示され、授業等で活用された。これにより、指導方法の改善、子ども達の運動発達の円滑化が図られたものと思われる。</p> <p>2) 「小学校1, 2年生への運動実践」: 主に運動が苦手であったり、機会が不足していたりする児童を対象に、運動発達を促す機会が提供された。多くの児童が運動の楽しさを体感し、参加者の保護者においても子ども達の運動に対する関心を高めていただけたものと思われる。さらに、今年度は、実践中の意欲・態度、規律等との関連を示すことで、運動を通じた精神面、社会面の向上が極めて重要であり、かつ、運動を通じた育みも重要であることが示された。</p> <p>3) 「保健体育授業の協働」: 市内2校で実施した。本年度は、リーフレットを活用した協働を行うことで、今後の利用促進のための課題や方針について検討することができた。今後の、活用促進の際に有効な知見であったと思われ、今後の展開時に活用していける成果であった。</p>	
(3) プロジェクト実施内容 (※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	
<p>2019年度は主に3つの活動を実施した。</p> <p>3) 「運動指導リーフレット作成」では、年度の最初に走動作、跳動作のリーフレットの追加印刷、跳び箱、鉄棒のポスター版の印刷を行い、市内の各小学校および公立保育園に配布した。多くの学校、保育園で体育館等に掲示いただき、活用を促進した。さらに、年度後半にマット運動2種、ボールゲームそして、リズム運動のリーフレット作成を行った。次年度始めにはすべて学校、保育園に配布予定である。次年度以降は、小中一貫校へも配布を行っていく。</p> <p>2) 「瀬戸市内の小学校1, 2年生を対象に集中的な運動実践」では48名の児童を対象に全8回の運動実践を2018年度同様に名古屋学院大学で実施した。対象者は運動が苦手であったり、機会が不足していたりする児童を選抜した。2019年度は、子ども達の実践中の態度・意欲や規律といった、体力面以外の取り組み姿勢と体力向上に関連があることを検証した。</p> <p>3) 「瀬戸市内の小学校2年生の保健体育授業の協働」では本年度は2校で実施した。リーフレットを配布済みの運動要素である、跳び箱と鉄棒運動に関連して協働した。リーフレット (ポスター) を活用した取り組みを行い、活用の成果と課題を実践的に検討した。</p> <p>上記以外に、保育士の自主研修会およびティーチャーズスクールで関連の成果について講演、報告を行い、活用の促進をした。</p>	
(4) プロジェクトの今後の課題と展望	
<p>本研究課題では、子ども達の運動促進を中心命題に保育・教育現場で活用可能なリーフレットの作成を進めてきた。さらに、実践的な活動も並行して行うことで、直接、子ども達と触れることで見える課題を体感し、取り組みにいかしてきた。今後は、これらの成果をいかに現場での活用を促進していくかである。次年度以降は、これまでのリーフレットをひとまとめにした小冊子の作成と、運動カードの作成などを通して、活用を促進していく予定である。あわせて、小中一貫校の体育教育のカリキュラムとのタイアップも進め、発育発達期の子ども達に対する一貫した運動促進活動にいかしていきたい。</p>	